

○山本一太内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策） 北方領土訪問（平成25年9月19日～23日）

山本一太内閣府特命担当大臣が、四島交流訪問事業（ビザなし訪問）に参加し、国後島及び択捉島を訪問しました。現職閣僚としては8年ぶりの北方領土訪問となりました。



[根室港を出港する山本大臣]



[択捉島紗那空港の建設現場を視察する山本大臣]



[記者会見で発言する山本大臣]

【四島交流訪問事業（ビザなし訪問事業）】

9月19日から23日の5日間の日程で、国後島及び択捉島を訪問しました。

【記者会見】

記者会見にて山本大臣は、「北方領土の現状を冷静に受け止めて、一喜一憂せず、粘り強く交渉を通じてこの領土問題解決を図っていく。」と話し、「ホームビジットで3時間、地区の行政庁と深い議論ができた。また、島に住んでいる方々とも意見交換ができた。」、「インフラ整備の状況についても、町の状況についても、しっかりと現場を見ることができた。」、「どんな啓発をするにしても、現実を見ないとできない。北方領土問題をどうやって対外的に領土問題担当相として発信していくのかということには大きく生きてくと思う。」と北方領土訪問での成果と今後について述べました。